

第24回日本腐植物質学会講演会 プログラム

期日 11月4日(火)～11月5日(水)

会場 北海道大学百年記念会館 大会議室

大会日程

11月4日(火)

- 9:00- 9:35 受付
- 9:35- 9:40 開会の辞
- 9:40-11:00 一般講演 「腐植物質のキャラクタリゼーション」
- 11:00-11:10 休憩
- 11:10-12:30 一般講演 「腐植物質の環境動態」
- 12:30-13:30 休憩
- 13:30-14:30 総会
- 15:00-17:40 テーマ講演 「湿原域における腐植物質の特徴と移行挙動」
- 18:00-19:45 懇親会

北海道大学百年記念会館1Fレストラン「きやら亭」

11月5日(水)

- 9:00-10:00 受付
- 10:00-11:00 一般講演 「腐植物質の機能性」
- 11:00-12:00 一般講演 「新しい分析法の開発」
- 12:00-13:30 休憩
- 13:30-14:10 一般講演 「新しい分析法の開発」
- 14:10-15:10 一般講演 「材料としての利用技術の検討」
- 15:10-15:15 閉会の辞

日本腐植物質学会第24回講演会実行委員会 事務局

札幌市北区北10条西5丁目

北海道大学大学院地球環境科学研究院地球圏科学部門変動解析学分野長尾研究室内

TEL/FAX: 011-706-2349

E-mail: nagao@ees.hokudai.ac.jp

11月4日(火)

9:35 開会の辞

【一般講演 1. 腐植物質のキャラクタリゼーション】 9:40-11:00

[座長] 渡辺 彰 (名古屋大学)

- 9:40 亜炭, 草炭, 土壌よりエタノール抽出される成分の物性とその応用
○佐々木 理 (千葉工大・資源環境セ), 関根 宏和, 山口 達明 (千葉工大・工)
- 10:00 モノリスチューブカラムを用いた HPLC により分画した腐植物質の DRIFT スペクトル
○青山 正和 (弘前大・農学生命)
- 10:20 Aldrich フミン酸サイズ画分の官能基構造と反応特性
○田中 忠夫 (原子力機構・安全研究セ)
- 10:40 伊万里湾及び有明海における海水中的のコロイド有機成分の構造特性
○兒玉 宏樹 (佐賀大・総合分析実験セ)、伊藤 大悟、蒲池 将士、宮島 徹 (佐賀大学・理工)

【休憩】 11:00-11:10

【一般講演 2. 腐植物質の環境動態】 11:10-12:30

[座長] 青山 正和 (弘前大学)

- 11:10 Eu(III)との錯形成による蛍光消光特性の腐植物質分子量依存性 -3次元蛍光スペクトルと高性能サイズ排除クロマトグラフィーによる検討-
○玉村 修司、長尾 誠也 (北大院・地球環境)
- 11:30 フミン酸およびそのサイズ分画成分のカオリナイトへの協同吸着
○寺島 元基、長尾 誠也 (北大院・地球環境)、福嶋 正巳 (北大院・工)
- 11:50 フミン酸を吸着したカオリナイト粒子の砂充填カラム内での沈着挙動
白鳥 克哉、○足立 泰久、山下 祐司 (筑波大院・生命環境)
- 12:10 微量元素の河川流出に関わる溶存有機物の役割
○松永 武、都築 克紀 (原子力機構・東海研)

【昼休み】 12:30-13:30

【総会】 13:30-14:30

【テーマ講演会 湿原域における腐植物質の特徴と移行挙動】 15:00-17:40

コンビーナー 長尾誠也 (北海道大学)、藤嶽暢英 (神戸大学)

15:00 趣旨説明

15:10 湿原土壌有機物および腐植物質の特徴と湾堆積物への移行

○山本 修一、下村 明希子、園田 和彦、村田 朋也 (創価大・工)

15:45 湿原水溶存有機物の分子サイズ分布 その地域差と季節変化

○筒木 潔、吉田 恵美 (帯畜大・地域環境)、渡辺 彰 (名大院・生命農学)、
真家 永光 (北里大・獣医)

16:20 北海道北部の森林・湿原流域における溶存有機物の動態 [招待講演]

○柴田 英昭 (北大・北方生物圏)

16:55 北海道湿原域河川水の腐植物質の特徴と移行挙動

○長尾 誠也 (北大院・地球環境)

17:30 全体討論

【懇親会】 18:00-19:45

北海道大学百年記念会館1Fレストラン「きゃら亭」

11月5日 (水)

【一般講演 3. 腐植物質の機能性】 10:00-11:00

[座長] 川東 正幸 (日本大学)

10:00 マグネシウム担持シリカゲルの腐植物質吸着における表面修飾の影響

○森口 武史 (埼玉医大・医学基礎化学)、矢口 和彦 (富士シリシア化学)

10:20 カテコールとグリシンの暗色化に及ぼす粘土鉱物の物理化学的因子の解明

○三浦 亮貴、出雲 健司、福嶋 正巳 (北大院・工)

10:40 黒ぼく土中におけるアニオン性界面活性剤の吸着移動に及ぼす電解質の影響

○石黒 宗秀 (岡山大・環境管理)、杉山 真也、石岡 亜希子 (岡山大・環境理工)

【一般講演 4. 新しい分析法の開発】 11:00-12:00

[座長] 福嶋 正巳 (北海道大学)

11:00 試料の保存方法が溶存有機物の特性に及ぼす影響

○川東 正幸、隅田 裕明 (日大・資源生物)

11:20 腐植化度の増大とグラファイト様構造の発達: X線回折プロファイルからのアプローチ

○池谷 康祐 (名工大院・工)、齋藤 徳之 (名大・超高压電顕)、日影 達夫 (名大・超強力X線)、大谷 肇 (名工大院・工)、渡辺 彰 (名大院・生命農学)

11:40 非有色水系の腐植物質定量法の検討—樹脂吸着 (バッチ法) からのアプローチ
津田 久美子、○白井 秀門、藤嶽 暢英 (神戸大院・農)

【昼休み】 12:00-13:30

【一般講演 4. 新しい分析法の開発】 13:30-14:10

[座長] 足立 泰久 (筑波大学)

13:30 液体および固体 ^{13}C NMR 法による腐植物質の官能基炭素組成の比較 - 反転ゲートデカップリング法と CPMAS 法

渡辺 彰 (名大院・生命農学), ○藤嶽 暢英 (神戸大院・農学)

13:50 土壌、堆積物および溶存腐植物質の水素同位体比

○関 宰、長尾 誠也 (北大院・地球環境)、児玉 宏樹 (佐賀大・総合分析実験セ)、米林 甲陽 (石川県立大・生物環境)、宮島 徹 (佐賀大・理工)、中塚 武 (名大院・環境)、藤嶽 暢英 (神戸大院・農)

【一般講演 5. 材料としての利用技術の検討】 14:10-15:10

[座長] 田中 俊逸 (北海道大学)

14:10 リモナイトのフルボ酸吸着能とその環境浄化作用

○加藤 佑亮、内田 勝美 (東京理科大・理)、川東 正幸 (日大・生物資源)、後藤 純雄 (麻布大・環境保健)、吉澤 秀治 (明星大・理工)、矢島 博文 (東京理科大・理)

14:30 腐植物質—磁性マイクロ粒子ハイブリッド吸着剤の作製と水処理剤としての基礎的検討

○工藤 千春 (富山大院・理工学教育)、倉光 英樹、波多 宣子、田口 茂 (富山大院・理工学研究)、福嶋 正巳 (北大院・工)

14:50 ヒドロキノンを修飾した腐植酸への鉄ポルフィリン触媒の導入とその触媒活性の評価

○福嶋 正巳 (北大院・工)、長尾 誠也 (北大院・地球環境)

【閉会の辞】 15:10-15:15